平成22年度

第8回 倫理·利益相反委員会 会議記録概要

日 時:平成22年11月30日(火)午後15:00~16:40

場 所:第3会議室

出席者:委員長 富永 祐民

委員 豊嶋 英明、岡村 幹吉、玉腰 暁子、松村 隆雄、水谷 博之、

鳥羽 研二、野田 広、鈴木 隆雄、寺西 正美

欠席者: 委 員 酒井 一

出席委員数/全委員数:10人/11人

審議事項

申請課題数:再申請課題 1件

新規申請課題 6件

合計 7件

その他審議事項は特になし

申請課題について

受付番号:487-2

課 題 名:認知症患者における低栄養改善を目的とした栄養食事指導に関する研究

申請者:村崎 明広

審議内容: 各小委員会からの意見について委員長より説明された。その意見を踏

まえ、当該研究の倫理・利益相反の妥当性について審議された。

審 査 結 果:条件付き承認(修正内容の確認をもって承認とする。) 〈条件〉

No. 1

- ・研究分担者の役割を記載すること。
- 対象の範囲をはっきりさせること。
- ・説明文書を再度読み直し、わかりやすく修正すること。

(調査の内容の箇所で「無作為」という言葉があるが、高齢の方には分かりにくいと思われるため、「どちらの群になるかわかりません」等と変更すること 等)

・研究計画書に2回行う群(複数回群)と記載があるが、説明書には、外来受診に合わせて継続される方(複数回群)とあるので、2回ではないと考えられるため、どちらかに合わせること。

No. 2 | 受付番号: 491

課 題 名:在宅医療支援病棟入院患者の特性と支援内容の現状と課題の検討

申請者:中村 孔美

審議内容:各小委員会からの意見について委員長より説明された。その意見を踏

まえ、当該研究の倫理・利益相反の妥当性について審議された。

審査結果:承認

No. 3 | 受付番号: 492

課 題 名:血液疾患バイオリソースとしての血液、骨髄液、リンパ節等生

体試料の収集

申請者:勝見章

審議内容:各小委員会からの意見について委員長より説明された。その意見を踏

まえ、当該研究の倫理・利益相反の妥当性について審議された。

審 査 結 果:条件付き承認(修正内容の確認をもって承認とする。) 〈条件〉

今回の申請では、試料を採取・保管することに関してのみ審査し、条件付き承認とする。そのデータを使用して研究を行う場合には、その都度倫理審査を受けること。

・採取・保管に関する情報を記載すること。

No. 4 | 受付番号: 493

課 題 名:愛知県の医療機関の認知症診療に関する実態調査

申請者:武田 章敬

審議内容:各小委員会からの意見について委員長より説明された。その意見を踏

まえ、当該研究の倫理・利益相反の妥当性について審議された。

審査結果:承認

No. 5 受付番号: 494

課 題 名:認知症専門病棟及び在宅医療支援病棟と高齢者一般病棟における重症

度・看護必要度からみた適正配置人員の検証並びに看護師の職務満

足・疲労度との関連調査

申請者:星山 明代

審議内容:各小委員会からの意見について委員長より説明された。その意見を踏

まえ、当該研究の倫理・利益相反の妥当性について審議された。

審 杳 結 果:承認

No. 6 | 受付番号: 495

課題名:画像解析と脳機能計測による運動協調機能の加齢性変化の特徴抽出の

研究

申請者:中井 敏晴

審議内容:各小委員会からの意見について委員長より説明された。その意見を踏

まえ、当該研究の倫理・利益相反の妥当性について審議された。

審査結果:承認

No. 7 | 受付番号: 496

課 題 名:高齢者医療・介護に従事している看護師が考える高齢者の移動支援プ

ロセスー車椅子を用いた安全な移動支援の実践に向けて一

申請者:押本 由美

審議内容:各小委員会からの意見について委員長より説明された。その意見を踏

まえ、当該研究の倫理・利益相反の妥当性について審議された。

審査結果:条件付き承認(修正内容の確認をもって承認とする。)

〈条件〉

・無記名のアンケート調査であることを説明書に明記すること。

- ・同意書は不要である。
- ・研究分担者の役割について記載すること。
- ・研究課題名を分かりやすく修正すること。